

Information

特別セミナー「医療を変える臨床研究」 —「臨床研究の道標 第2版」出版記念講演会

日時・場所：【東京】9月10日(日)午後1時から4時半 東京大学 弥生講堂 一条ホール

【京都】9月24日(日)午後1時から4時半 京都大学 芝蘭会館 山内ホール

プログラム：【第一部】臨床研究は医療者を元気にする

・プレゼンテーション Ichiro Kawachi (Harvard 大学教授)

・特別ゲスト講演

「臨床医のココロのスキマを埋める研究とは？」 香坂 俊(東京会場)

「CRP が役立つか、臨床研究やってみました」 山本 舜悟(京都会場)

・鼎談

「世界水準の臨床研究者をどう育てるか？」

黒川 清, 吉澤 靖之, 福原 俊一(東京会場)

川上 浩司, 中山 健夫, 福原 俊一(京都会場)

【第二部】「臨床研究の道標」の道標

・「臨床研究の道標 サマリー」私ならこう読む(理解度チェックつき)

紙谷 司(東京会場), 福岡 真悟(京都会場)

・「臨床研究の道標 7つの謎」福原 俊一

参加費：1万円(「臨床研究の道標 第2版」上下巻 8,208円(税込)含む)

申込方法：事前申し込みのみ(www.i-hope.jp/others)

特別セミナー実行委員会(50音順)：(委員長：本多 通孝：福島県立医科大学 教授)

発起人：上野 文昭(米国内科学会(ACP)日本支部 代表理事), 川上 浩司(京都大学教授), 中山 健夫(京都大学教授), 濱口 杉大(福島県立医科大学教授), 宮田 俊男(国立がん研究センター 企画戦略局 政策室長), 渡部 一宏(昭和薬科大学 理事兼教授)

顧問：笥 善行(香川大学次期学長), 塩田 浩平(滋賀医科大学学長), 丸山 泉(日本プライマリ・ケア連合学会理事長), 吉澤 靖之(東京医科歯科大学学長)